

東京キャットガーディアンの活動

- 行政（保健所・愛護センター）などから猫を引き取り、飼育希望の方に譲渡する活動
- 譲渡までの保護飼育
- 譲渡前猫への去勢不妊手術の実施
- 地域猫不妊去勢手術専門の動物病院運営（そとねこ病院）
- 上記活動を補う情報の収集と提供

猫の保護、譲渡活動の他、飼い主のいない猫の為に去勢・避妊手術専門の動物病院「そとねこ病院」の運営、日本初の試みである賃貸マンションに猫がついてくる「猫付きマンション」、キャットフードや猫砂など日常のお買い物で保護活動に参加出来る仕組みの ShippoTV の運営など、様々な活動を通じ”シェルターから伴侶動物をもらおう”という選択肢が存在することを、さらに広く知っていただける様に活動して行きます。



活動履歴

2002年		代表山本葉子が個人シェルターとして豊島区の自宅で約30頭の猫たちの保護を開始。
2008年	4月	地域のボランティアさんと役割分担をしながらの里親探しや不妊去勢手術・啓発活動を経て、任意の保護団体としてスタート。
	12月	外猫(野良猫)の不妊去勢手術と行政から受け入れた猫のケアのための病院運営スタート。常設の猫の譲渡会場として開放型シェルター(猫カフェスペース)を東京大塚に国内初の運営形態として立ち上げる。
2009年	8月	成猫のお引取りと再譲渡事業を開始。
2010年	4月19日	特定非営利活動法人(NPO法人)取得。
	9月	猫付きマンションを開始。
2012年	4月1日	東京西国分寺に2つ目の開放型シェルターをオープン。 ・譲渡1頭につき1冊、愛猫手帳の配布 ・しっぽコールの運営開始 ・譲渡総数2500頭突破
	12月22日	大塚シェルターを同ビル5階に移転。全面ガラス張りのスカイシェルターとして運営継続。
2013年	3月3日	大塚シェルターのビル1階に飼い主のいない猫の不妊去勢手術専門の「東京キャットガーディアンそとねこ病院」を開設。運営費の為に、ペット用品、ご支援頂いているリサイクルグッズ販売のショップを運営。
	6月	猫カフェスクールの開始。 譲渡総数3000頭突破
	9月8日	保護猫カフェ「蒲田とらくん」がガーディアングループに加わる。
	9月11日	東京都動物愛護センターで第二種動物取り扱い業として受理されました。
	10月	NPOとしては日本初の「ペット保険代理店業務」を開始。
2014年	9月	猫付きシェアハウスを開始
	12月	譲渡総数4000頭突破
2015年	1月	ねこねこ110番開始
	4月3日	「猫付きマンション」「猫付きシェアハウス」商標権の設定登録
	11月	ねこのゆめ開始。 猫と人の終活勉強会開始。
	11月17日	山本葉子・松村徹共著「ねこを助ける仕事」出版(光文社新書)。
2016年	5月	譲渡総数5000頭突破